

平成 28 年 12 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 28 年 12 月 27 日 (火) 午後 2 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 101、102

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	齋 藤 和 夫
委 員	黒 川 優 子	委 員	山 崎 克 弥
委 員	中 野 信 男	委 員	秦 久美子

4 欠席委員の氏名 なし

5 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	主 幹	長 谷 川 智
学 校 教 育 課 長	堀 克 彦	子 育 て 支 援 課 長	宮 路 豊 行
社 会 教 育 課 長	宮 路 一 規	指 導 主 事	大 井 怜 子

6 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 3 名

7 傍聴人

2 名

8 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

協議題

協議第 7 号 新規共催・後援申請について

## 議 案

議案第 54 号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

## その他

(1) 平成 28 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 28 年度燕市一般会計補正予算（第 5 号）の概要について

2) 一般質問の概要

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後2時30分～

2. 会議録署名委員の指名 山 崎 克 弥 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

○委員 (黒川 優子)

「燕キャプテンミーティング」はこの時期に年1回だけ開催しているのか。

○学校教育課長 (堀 克彦)

この冬休み時期の年末ギリギリに年1回開催している。また講師の都合もあり、今年の講師の中村監督など優秀な指導者の日程調整も難しい。

○委員 (黒川 優子)

新しい部長が対象とのことだが、文化部の部長も参加していると聞いた。スポーツ指導だけでなく、組織をまとめるということで、この「燕キャプテンミーティング」があると思う。今、いじめなどは部活動の中で起きることが多いが、メンタル的な指導や、来てもらうコーチの立ち位置もこれからの時代、そういう点も部長・副部長も気にしていかないといけないと思う。今後はメンタル的な内容もあると良いのではないか。

○学校教育課長 (堀 克彦)

「燕キャプテンミーティング」は基本的にコミュニケーション能力を身につけることが目的で、昨日の講演会もその点を重視した内容になっている。また、コミュニケーション能力を高めるために各中学校から生徒が集まっているので、常にローテーションをして、相手を変えて自己紹介や課題解決に取り組んだ。また来年も引き続き行いたいと考えている。

○教育長 (仲野 孝)

昨日は「質問メンタルトレーニング」がテーマであり、精神面の部分についての講演であったと聞いている。3年前の第1回は53人だったが、今年は116人の参加があり、3年間で倍以上に増えたのは学校の指導だけでなく、子どもたちの「参加して学びたい、吸収したい」という意欲の現れと捉えたい。3日間で急激に変わることは難しいが、気持ちの持ち方が変わることで成長することを期待したい。

## (2) 教育長報告

〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

### 1 はじめに

- 県内外でいじめや暴力に関する報道が相次いでおり、学校の認知や児童生徒に対する指導だけでなく、教育委員会の対応も話題となっている。教育委員会としては、①児童生徒の様子をしっかりと見守ること、②小さな出来事でもいじめに繋がると想定されるものは報告すること、③いじめについては教職員全員で情報共有を図ることなどについて校長会で丁寧に指導したい。
- 人手不足が深刻な保育士の確保に向けて、国は来年度から処遇改善策として保育士に「副主任」や「専門リーダー」の中堅役職を設け賃金を上乘せする方向との報道発表があり、この改善が保育士の確保に結びつくことを期待したい。
- 12月19日に県立中等教育学校の志願倍率が公表された。燕中等教育学校は、定員80人のところ111人が志願し、1.38倍となった。今は公立中学校の他、公立中高一貫教育校や私立中学校も選択できる時代である。特色ある学校づくりは中学校でも必要となっている。

### 2 平成28年第4回燕市議会における主な一般質問(別紙資料あり)

- 高校の再編問題及びいじめと不登校問題について
- 「がん教育」の推進について
- 公共施設の整備について
- 青少年の健全育成について
- 学校給食施設の地産地消について
- 市内子どもたちのサッカー環境の整備について
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての学校教育について
- 不登校と断続的欠席の現状について
- 子ども達を取り巻く環境について
- 中学校の部活動や少年野球などにおけるプロテクター使用と携行型AEDの普及について

### 3 12月行事報告より

#### (1) 給食川柳・燕ジュニア検定表彰式(12/3)

- 給食川柳で市長賞1人(燕西小6年生)、教育長賞1人(小中川小4年生)を含め12人の児童を表彰した。
- 燕ジュニア検定では、「燕ジュニア博士A(Aクラスの満点者)」15人と、「Aクラス1級(90点~99点)」41人を表彰したが、中には2年連続で満点賞を取った児童もおり感心させられた。

- 当日は、総務文教常任委員や教育委員、保護者など大勢の方においでいただき感謝している。今後とも、子どもたちが何事にも積極的にチャレンジしてくれることを期待している。
- (2) 第5回みらい夢こども交流事業(12/3、4)
  - 第29回野間追の里健康マラソン大会及び標記の交流事業が福島県南相馬市で行われ、分水ジュニア陸上教室の児童6人(6年生女子4人：5年生男子2人)と指導者3人とともに参加した。
  - 男子児童が、小学5年男子3km部門に出場し86人中6位に入賞、指導者の1人も一般男子5kmに出場し、74人中5位で入賞した。
  - 距離だけでなく、年齢別や親子ペアマラソンを設け、多くの方が参加しやすいように計画されており、燕マラソンの活性化に向けて参考になった。
- (3) 総務文教常任委員による視察(12/16)
  - (株)味彩燕で給食の試食後、東部学校給食センター建設予定地の見学、改修中である西小児童クラブの施設などの見学を実施した。
  - 給食では、地産地消の食材や給食のカロリー、残量調査結果に関する質問などがあった。

#### 4 終わりに

- 4月より教育委員の皆様にはお世話になり感謝申し上げます。
- 平成28年もあと数日となったが、大きな事故や事件もなく安堵している。新年も常に危機意識をもちながら気持ちを引き締めていきたい。
- 平成29年も教育委員会の3課では、それぞれに課題が山積している。事務局職員や学校・園を含め教職員が一丸となり、課題を解決していきたい。

#### ○委員(中野 信男)

南相馬市の野間追の里健康マラソンは燕市民マラソンと違って活気があったということだが、燕市との違いはどんな点か。

#### ○教育長(仲野 孝)

まず規模が全く違った。南相馬市と災害協定を締結している全国の市町村に声を掛け、北海道から滋賀県までの小・中学生が招待されていた。小学生でも学年ごと、男女ごと、距離ごとで細かく分けていた。一番良かった点は、親子で一緒に走って競争ではなく、親子のコミュニケーションを重視していた点がとても参考になった。少しずつこのような取組が出来ていくと、市民だけでなく近隣からも参加してもらえるのではないかと思う。

(3) 寄附報告

2件の寄附について  
〈堀学校教育課長が報告〉

○委員（中野 信男）

10台もデジタルカメラが必要なのか。これは学校の希望なのか。

○学校教育課長（堀 克彦）

バザー等で売上が出た時に、それに合わせて学校の要望を確認している。デジタルカメラはタブレット授業にも使用が出来るので、とても重宝する。

4. 協議題

協議第7号 新規共催・後援申請について

1件の共催・後援について

〈宮路社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく承認された。

5. 議案

議案第54号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

審議の結果、全員異議なく承認された。

6. その他

(1) 平成28年度第4回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成28年度燕市一般会計補正予算（第5号）の概要について  
〈各課長が説明〉

○委員（中野 信男）

「私立認可保育所経費」について、マイナスとなっている原因は何か。

○子育て支援課長（宮路 豊行）

「立正保育園保育実施委託料」が、当初見込んだ園児の人数よりも14人少なかったことによるものである。

## 2) 一般質問の概要

〈山田教育次長が説明〉

### ○委員（中野 信男）

第4回市議会での議員の質問の中で、部活動を取り巻く環境における問題点は多くあり一言では言えないと思うが、教育委員会では主な問題点は何と考えているか。

### ○主幹（長谷川 智）

議員から、「正規の部活動の終了後に保護者会活動や、社会教育活動という名前で切り替わるが、その際の切り替わりが不明確であったり、部活動の延長となっているのではないか。」との指摘があった。現在、校長会で調査を行っているが、学校以外の団体では保護者からの同意をもらい、入口を変えるなどして、切り替えるようにしている。また、部活動ではないが「社会体育の指導者と保護者がうまく意思疎通ができずにトラブルになったことはないか。」ということについては、実際にそのようなケースがあり、学校が中間に入って3者で話し合いをし、子どもたちがスムーズに活動できるようになった。他にも議員からは「練習時間が長い、朝練習があり睡眠が足りない、家庭学習の時間が少ない」といった指摘もある。このことについては以前から学校で時間をきちんと決めており、それをしっかり守ること、また部活動を始める前に保護者にしっかり時間や規則を理解してもらうことが課題としてある。文部科学省は教員の勤務時間の長さの原因の1つが部活動であるとして調査を始めようとしているが、それを待たずに研修会を行いたいと考えている。

6 閉 会 午後3時48分

教 育 長 仲野 孝 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 山崎 克弥 \_\_\_\_\_

会議録調整者 竹田 亮子 \_\_\_\_\_